

都民塾だより 番外編

(2018. 10. 9 野口 和久)

10月6日(土)～7日(日)中央区・築地本願寺で開催された「世界はみな友だちフェスティバル2018」に、都民塾(呼び掛け人 立石晴康前東京都議)も協力した。このイベントには外国人を含め多くの方が訪れ、成功裏に終わった。

平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックの2020年開催を記念し、築地本願寺を舞台に、「世界はみな友だち」というテーマに、大規模なアートと国際交流のイベントが開催された。

「世界はみな友だちフェスティバル2018」は、①国際交流ブース＝豪州、ニュージーランド、ブ



(開会式で挨拶される大谷光淳門主)

ータン、米ハワイ州など世界各国のブースでお土産等販売②30mの和紙に松井守男画伯と一緒に絵を描こう!というワークショップ「アートコラボレーション・イン・築地本願寺」③築地本願寺の本堂で、世界的に活躍する松井守男の特別展覧会(10月5日～21日)一の3つで構成された。



(子どもたちに絵を指導する松井画伯)

「世界はみな友だちフェスティバル2018」開会式には、大谷光淳浄土真宗本願寺派門主、矢田美英中央区長、松井守男画伯の3氏が揃って挨拶を行いスタート。「ワークショップ「アートコラボレーション・イン・築地本願寺」には世界の子供たち300人が参加、絵を描く楽しさを満喫。7日夕のレセプションパーティにはフランス大使館文化参事官も出席、盛り上がった。



(「都民塾」のブースも賑いをみせた)

以上